

## 「中国不動産協会産業協力委員会」設立総会

当協議会は国土交通省、経済産業省の支援のもと中国住宅都市農村建設部及び中国側関係機関等との協議のもと、日中の官民が一体となった共同開発事業を推進するべく準備を進めています。5月に予定しています当協議会の訪中団においては、共同事業に関する日中の最終合意に至るよう今後詳細を計画してまいります。このような状況の中、中国側に当協議会のカウンターパートとなる組織が設立され、12月14日（水）に北京にて設立総会が開催されました。当協議会から吉田副会長を始め関係者が出席をし、設立を祝福いたしました。

日 時：2011年12月14日（水）

場 所：中国北京 新大都飯店

参加者：中国側 中国不動産協会；劉会長（元中国建設部副部長）

産業協力委員会；張主任委員（上海緑地集団董事長）、張執行主任委員（中国建築設計研究院副院長）、他中国側幹部、会員企業；60社、約100名

日本側 国土交通省；橋本課長

日中建協；吉田副会長（YKKAP 会長）、社本運営委員長（日本建築住宅センター社長）、笹井部会長（日本建築センター専務理事）、満田（事務局）

- 日 程：
- ・ 幹部紹介、承認式
  - ・ 劉会長挨拶
  - ・ 日本側挨拶（祝辞）：橋本課長、吉田副会長
  - ・ 委員会規則発表、活動報告



1. 中国不動産協会産業協力委員会の概要は、会報誌「日中建協 NEWS」No. 195号 12-1月号を参照下さい。
2. 中国不動産協会の劉会長挨拶

産業協力委員会設立の経緯から目的、役割、中国不動産協会との関係などについて紹介があり、中国の不動産市場における今後の発展の方向性については、品質向上の問題、工業化、部品化、国際交流など、そして保障性住宅の問題にも話が及びました。

中国の建築住宅分野の今後の方向性や取り組むべき課題など、そして産業協力委員会への期待や要望など多方面にわたるお話をいただきました。



### 3. 国土交通省橋本課長の祝辞



はじめに、11月14日に日本で開催された日中の政府間会議には、中国住宅都市農村建設部を始め中国不動産協会からも参加をいただき日本側の日中建協の参加と合わせて民間団体との交流が図れたことに対する報告がありました。

こうした中で、「中国不動産協会産業協力委員会」が設立されることは、誠に喜ばしい限りであり、今後の両国の建築・住宅分野の相互交流の大いなる発展につながることを期待しておりますとの挨拶がありました。

### 4. 吉田副会長の祝辞

当協議会の吉田副会長（YKKAP（株）会長）より、樋口会長に代わり日中建協を代表して祝辞を述べていただきました。

「日本と中国が建築・住宅分野において近年ますます関係が緊密になる中において、日中両国の政府より日中の官民が一体となって共同事業を進めるという提案をいただいています。日本においては日中建協が、中国においては産業協力委員会が双方の窓口となって、政府と民間企業、また日中間をつなぐ橋渡しの役目を担っていきます。中国は「第12次5カ年計画」のもと、建築や住宅の分野においても様々な取り組みが進められ、日中間で協力できる分野も多くあります。今後、日中建協と産業協力委員会との間で一つ一つ検討していき、それがお互いの会員企業にとって役に立つ活動となり、成果となるよう期待いたします。」と結ばれました。

吉田副会長からは祝辞の後、劉会長に日中建協からの記念品が渡されました。



設立総会終了後、中国側より日中共同事業を具体的に進めたいとの提案がありました。

また、産業協力委員会執行主任委員である中国設計研究院の張副院長からは、来年度（H24年度）の日中建協の総会に出席したいとの要望がありました。（是非ご出席いただきたいと思います。）

報告の詳細は、会報誌「日中建協 NEWS」No. 195号 12-1月号を参照下さい。